



Text for designs

---

# 間崩れをおこさない 『プランづくり』 <その1>

---

The training to design the house



# 間崩れをおこさない『プランづくり』 <その1>

## ■ 目次

目次	01
『ブロック』を使った間取りの考え方	02
1. 『ブロック』(BLOCK)とは	03
2. 『ブロック』に用途を持たせる	04
3. 『ブロック』の組み合わせ	06
4. 『ブロック』の基本パターン	10
5. 構造の安定性	11
実践① 住まいの用途から考える『ブロックづくり』	12
実践② ブロックの組み合わせでつくる『間取りづくり』	20

# 『ブロック』を使った 間取りの考え方

家づくり『基礎編』として、ブロックを使った間取りのつくり方を学びます。間取りづくりは、用途ごとに分けたブロックで構成されている、と考えることから始めてみましょう。

そのブロックで考えることのメリットとして、『間崩れをおこさない』ことと『生活スタイルのパターンを整理して覚えられる』ことがあります。

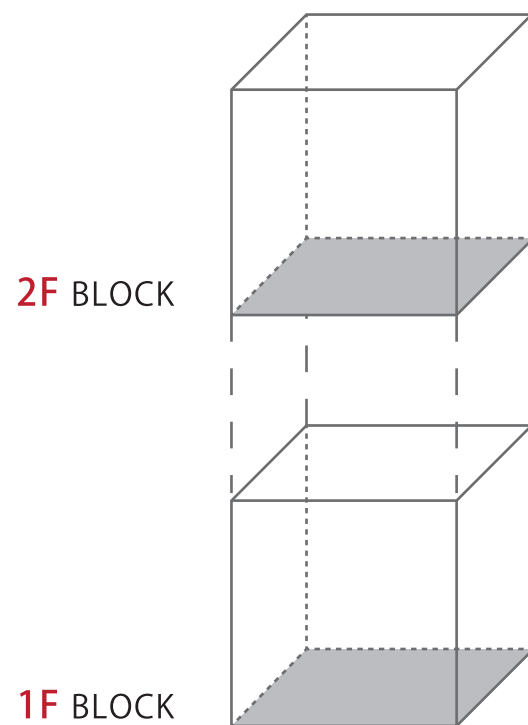
この2つのことを学べば、時代に合った間取り(生活スタイル)を安心・安全なカタチで提案することが可能になります。

これからの家づくりを見据えた間取りづくりの方法です。

ぜひ、実感してください。

## ブロックプラン手法

ブロックプラン手法とは、同じ大きさの「ブロック」を上下階(1階と2階)で重ね合わせて間取りをつくっていく手法です。無駄がなく合理的な考え方で、間崩れのない間取りができます。



本テキストでは、ブロックプラン手法の前段階として、8帖の基本ブロックを組み合わせた、32坪の間取りをつくります。



## 1. 『ブロック』(BLOCK) とは

まずはじめに、わかりやすいように大きさ8帖の正方形のブロックで考えます。8帖のスペースの中で、どのような暮らしのパターンがつかれるか、諸室の広さを確認しながら組み立てていきます。

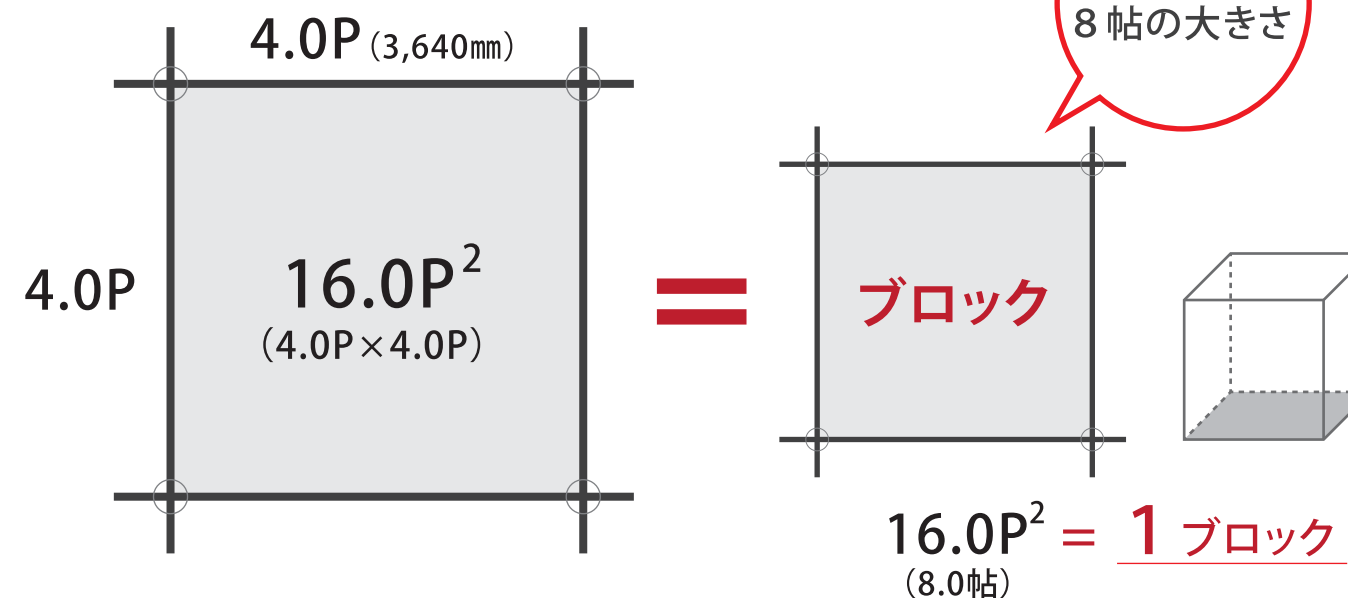
### ブロック(BLOCK) で考える良さ

誰でもが

- 簡単に間取りがつかれる
- 構造的に安心な建物がつかれる
- デザイン性に優れた家づくりができる



### ▶ 考えるブロックは



## 2. 『ブロック』に用途を持たせる

住まいを考える場合、まず、どのようなブロックが必要になるかを考えてみます。玄関、リビング、ダイニングキッチン、水廻りなど暮らしの要素（ブロック）づくりを行います。住まいの用途を考えることで様々な提案が可能となります。

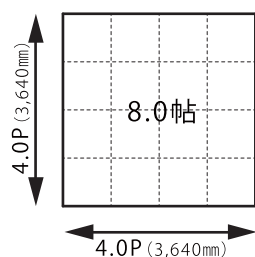
ひとつ1つの **ブロック** に住まいの用途を与える

【例えば】



暮らし方を  
ブロックに  
込める

これら8帖の正方形のブロックのなかに、諸室がどう納まるか、その組み合わせを考えることも、間取りをつくる力をつける訓練になります！

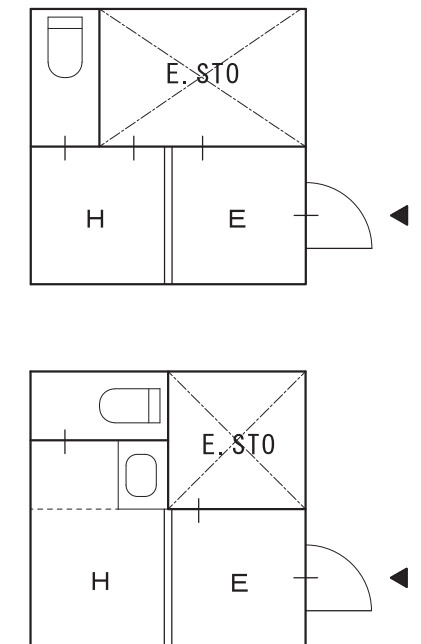
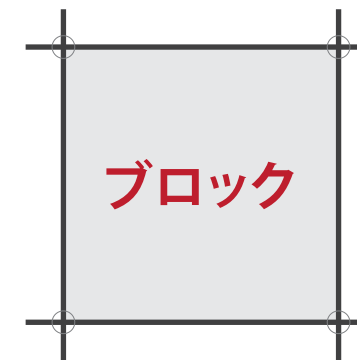


【参考例】 玄関ブロック及び、水廻りブロックの一例です。この他にも様々なブロックのパターンが考えられます。

### 玄関 (E) の BLOCK

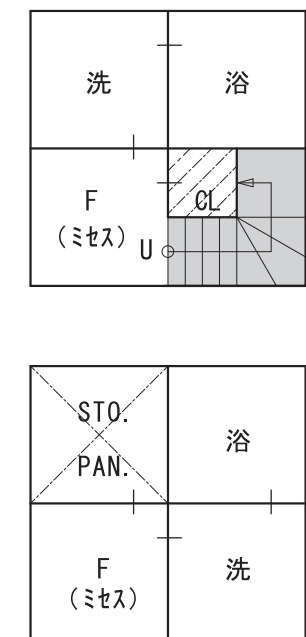
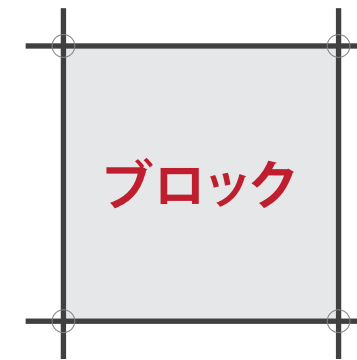


玄関 (E) とホール (H) に、玄関収納庫 (E.STO) とトイレを組み合わせた例です。



### 水廻り (W) の BLOCK

洗面脱衣室と浴室に、ミセスコーナーやパントリー (PAN)・収納庫 (STO) を組み合わせた例です。



ミセスコーナーを取り入れた間取りは、最近の流行！  
時代に合った間取りをつくれる！

